

ごあいさつ & 病棟紹介

東3階病棟

東3階病棟は、外科・整形外科の混合病棟で、主に手術前・手術後の患者、化学療法を行う患者さんが入院します。当院には、ICUがなく、侵襲が大きく重症度の高い手術患者が手術後すぐに病棟管理となるため、看護師は高いアセスメント能力・判断力・スキルが要求されます。その為、質の高い看護を提供することができるプロフェッショナルなスタッフがそろっています。



看護部長ごあいさつ

看護部長 / 藤田 あけみ

みなさんは、就職する病院をどのように選びますか？「大学病院で働きたい!」「がんの専門病院で働きたい!」「クリニックで働きたい!」「高齢者の施設で働きたい!」等々、さまざまな思いがあるかと思います。当院は地域医療を担う病院です。健診センター、2次救急外来、手術室、急性期病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟等を有しており、まさに地域住民の方々の健康と医療を担っています。当院でしかできない看護が、ここにはあります。当院看護部の3つのGood「自立した看護師が育つ環境」「思いやりのある働きやすい職場」「思ったことを言いやすい職場」を一緒につくっていきましょう。



南3階病棟



「地域包括ケア病棟」は、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行うことを目的とした病棟です。当院は、平成29年2月に、地域包括ケア病棟を開棟しました。患者、家族が安心して退院できるように、医師、看護師、病棟専従のリハビリテーション科のスタッフ、病棟専任の医療ソーシャルワーカー等が連携し、病状、住宅環境や介護者の状況などに応じて、在宅や介護施設などへの退院支援を行っています。

東4階病棟

東4階病棟は、内科、循環器病棟です。患者様の声に耳を傾け、心暖かい看護が出来るスタッフが揃っています。多職種とのコミュニケーションが良好で、相談しやすい環境にあり、患者、家族を中心とした退院支援を強めています。スタッフ同士が互いに何でも言い合え、風通しの良い環境になっているため病棟で問題があってもすぐに解決でき、病棟全体で同じ方向に進むことができます。毎日笑顔が溢れ自慢の病棟。それが東4階病棟です。



外来

地域医療支援病院として地域の医療・福祉施設、消防署と緊密に連携を図り、質の高い医療サービスを行っています。診療科は、外科・内科・整形外科・循環器科をはじめ脳神経外科、神経内科等の専門外来があります。外来看護師は診療の補助の他、放射線科で行われる造影検査、イレウス管挿入、PTCD、リザーバー挿入等の介助、外来化学療法などを行っています。当院は二次救急病院であり、24時間通して救急患者の対応をしています。地域で選ばれる外来を目指し、全員が笑顔で頑張っています!



3 Good! どこにも負けない、私たち看護部の“3 Good”



仕事を行う上で大切な“コミュニケーション”

様々な視点や意見が尊重される
誰でも“思ったことを言いやすい環境”
Good Communication & discussion

各病棟で意見が言いやすい雰囲気を作る努力をしています。上司が部下との会話の時間を意識的にとっています。みんなが前向きに病院をより良くしたいと思っています。



看護師として大きく成長できる“教育支援体制”

真の看護力をもつ“自立した看護師”になれます
Good Chance & Training

プリセプターシップ制度や院内研修が充実しています。質の高い看護の知識と技術を習得できます。現在は認定看護師4名と(皮膚・排泄ケア、感染管理、緩和ケア、手術室看護)特定行為看護師が4名います。また、多職種から学ぶこともでき、院外研修の機会も提供されています。目標管理をみんなが身に付け自立して仕事をしています。



お互いを思いやりフォローしあえる“ケアサポート”

“患者と同じようにお互いをケア”という思いやりのある
働きやすい職場です
Good Care & Support

仲間を気遣い、“お互い様”の精神で助け合い、声を掛け合う環境が定着しています。レクリエーションを通しスタッフ間の親睦を深めています。経験豊かな先輩たちが疑問や悩みの相談にのり、サポートします。

南4階病棟



取手・龍ヶ崎地区初の緩和ケア病棟20床が2021年7月1日開棟しました。個室10床、2人部屋10床あります。ご家族様がゆっくり過ごせるように家族控室も2部屋あります。ホールでは、季節に合わせたイベントや飾りつけなどを行い、患者様・ご家族様と一緒に利用しています。

緩和ケア病棟は、がんの患者様の身体的・精神的苦痛の緩和を目指し、その人らしい生活が送れるように支援しています。また、緩和ケア認定看護師1名が在学中、専門的な看護ケアを行っています。医師、看護師の他に栄養士、理学療養士、薬剤師、ソーシャルワーカーと相談し、患者様・ご家族様の望む支援をしています。入院中でも外出や外泊も可能であり、また退院後の支援として、訪問看護や在宅医と協力体制を整えています。

手術室、中央材料室、内視鏡室



手術室は、手術・内視鏡・特殊検査等を担当している部署です。患者様の生命や予後に直結する手術や検査を行っており、手術によっては時間も長時間になるため、勤務中は精神的・身体的にも大変です。しかし、手術後訪問で患者様の安心した表情や、退院後元気に通院している姿を見ると、とても嬉しくやりがいを感じられます。手術室には、スタッフ個人だけでなく、チームとして知識と技術を共有し、患者様の安心と安全を優先に考え、1件1件の手術・処置に対応できるスタッフが揃っています。